

# マーティ・フリードマン、来日の米国学生クリエイターに J-POP の魅力を伝える KAKEHASHI Project ~ 日米青少年交流事業

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、初めての試みとして、米国の芸術・美術系大学生・大学院生を対象とした「学生クリエイター交流招へい事業」を、6月に実施します。全米の6大学から選ばれた学生クリエイター計78名が日本を訪れます。

6月18日には、世界中に熱狂的なファンを持ち、独自の切り口でJ-POPを語る、ギタリストのマーティ・フリードマン氏(ヘヴィメタルバンド「MEGADETH」の元メンバー)が、本プロジェクト参加者のうち、音楽を専攻している学生を中心とした2校27名に、J-POPの魅力や音楽における文化の違いなどについて、アーティストの視点から語ります。ご多忙の折恐れ入りますが、ご取材いただけましたら幸いです。詳細はお問合せ下さい。



(提供:株式会社ハウミック)

**日時: 6月18日(水) 11:00 - 12:00**

**会場: 国際交流基金 JFIC スペース「けやき」  
(東京都新宿区四谷4-4-1)**

## 学生クリエイター交流招へい事業について

**実施期間: 6月9日(月)日本着 ~ 6月19日(木)日本発**

クリエイターの卵である参加者は、日本文化の魅力を学び、今後の作品制作等に活かすことを目的に、10日間の滞在期間中に同世代の日本の美術系大学学生との討議等を通じた交流や、日本の若手クリエイターや企業等から話を聞き、クリエイティブ産業の最前線を体感します。さらにグループに分かれ、京都、岐阜、石川を訪問し、織物や工芸品等、地方ならではの多様な伝統文化について理解を深めます。最終日には、参加者全員で日本の「強み」や「価値」について意見交換を行います。18日の講演には、カトーバカレッジ(ノースカロライナ州)とモンクレール州立大学(ニュージャージー州)の学生27名が参加予定です。

当事業は日本政府(外務省)が推進する日米間の青少年交流「KAKEHASHI Project -The Bridge for Tomorrow-」(北米地域との青少年交流)の一環として実施します。活動の様子や参加した学生たちの心に残ったエピソード、本事業に対する思いなどをホームページに掲載しています。国際交流基金 KAKEHASHI ウェブサイト: <http://www.jpff.go.jp/j/intel/youth/index.html>

**主催者・本事業に関するお問い合わせ:** 青少年交流室 (担当: 古屋、原田、林)

Tel: 03 - 5369 - 6022 / E-mail: Masamichi.Furuya@jpf.go.jp / Mami.Harada@jpf.go.jp / Yoshiko.Hayashi@jpf.go.jp

**取材に関するお問い合わせ:** コミュニケーションセンター (担当: 川久保、麦谷)

Tel: 03 - 5369 - 6089 / Fax: 03 - 5369 - 6044 / E-mail: press@jpf.go.jp